

2019 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	星 優也
研究テーマ	中世神道と神楽
研究概要	近年、飛躍的に中世神道研究が進んでいる。なかでも注目されていることに中世から近世の移行期に「神道」がいかに変容したのか、新しい「神道」史の叙述が模索されている。本研究は、中世思想との関連が指摘される神楽に注目し、中世神道の近世的展開として神楽を位置づける。

1. 研究活動の概要と研究成果	4月に説話・伝承学会大会、11月に伝承文学研究会京都例会、12月に京都民俗学会大会で報告した。論文執筆として、4月の学会報告に基づき『説話・伝承学』に投稿し掲載が決定した。5月には関連テーマの論文が『仏教文学』に掲載された。また名古屋大学人類文化遺産テキスト学研究センターの『HERITEX』に論考を執筆し掲載が決定した。斎藤英喜氏の科研研究会で2度報告した。
2. 学術論文・学会発表等	<p>① 論文：「『神祇講式』と神楽・祭文」（『仏教文学』第44号、仏教文学会、2019年5月）</p> <p>② 論文：「藺牟田神舞「鉾舞」考—中世神道研究の視点から」（『説話・伝承学』28号、説話・伝承学会、2020年4月刊行予定）</p> <p>③ 論文：「天の祭り論—奥三河花祭の〈秘儀〉をめぐって」（『HERITEX』3号、名古屋大学人類文化遺産テキスト学研究センター、2020年4月刊行予定）</p> <p>④ 発表：「近世薩摩の神舞祭文における「天逆鉾」神話—藺牟田神舞「鉾舞」をめぐって」（説話・伝承学会春季大会、中京大学、2019年4月29日）</p> <p>⑤ 発表：「矛神話と鉾舞—南九州の神舞祭文をめぐって—」（伝承文学研究会京都例会、キャンパスプラザ京都、2019年10月20日）</p> <p>⑥ 発表：「児島県薩摩川内市「入来神舞」の祭文を読む」（京都民俗学会大会、京都産業大学むすびわざ館、2019年12月15日）</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	斎藤英喜氏の科研「神楽の中世的展開とその変容」（基盤研究（C）19K00092）の研究分担者に採用、研究期間2019年4月—2022年3月
4. 今後の課題	各報告内容の論文化および博士論文の書籍化を予定している。